

子を戒む

邱

濬

男児志も立つるは青年在り
万巻の詩書旃を勉むる貴

少飲貪る莫かれ儀狄の酒
勇為須く著べし祖生の鞭

材成すは務めて師友親在り
行保すは祖先を辱かしむるを休め

但古今賢達の者も看るに
声名後人に留与して伝う

【作者】 邱 濬（一四一八〜一四九五年）・明の儒者・政治家。字は仲深、文莊と諡（おくりな）される。広東省

瓊（けい）山の人。父と早く死別し、母が読み書きを教える。一四五四年の進士、孝宗の時文淵閣大学士となり政治に参与する。性は廉潔博学であり、晩年は右眼を失明したが読書をたやまず著述も多い。

【語釈】 *儀 狄：夏（か）の時代はじめて酒を作った人の名で酒の異名。 *勇 爲：勇気をふるって。

*祖生鞭：勉励して人と先を争う。先鞭をつける。晋の劉（王昆）（りゆうこん）が、友人の祖逖（そてき）が、先に任用されたのを聞き祖生に先に鞭をつけられたといった故事。

*成 材：人材を完成させること。 *保 行：日常の行いを正しく保つこと。 *賢達者：賢人達人。 *留 與：とどめのこす。

【通釈】 男児たる者志を立てるのは青年の時である。たくさんの詩書を読んでつとめて学ばなければならない。酒は飲んでも少量にとどめ暴飲してはならない。義をみては勇気を奮い人に先んじてやらなければならない。ない。

人物の完成には善き師、善き友と親しみ交わる事が大切であり、平生から行いを慎しみ、祖先の名を辱めぬようにすることである。

昔から賢人達人と仰がれる人を見ると、その名声を留めて永くこの世に伝えられているではないか。お前もこのようにして立派な人物になるよう心がけねばならない。